



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成24年 2月 8日

上場会社名 株式会社 な と り
コード番号 2922

上場取引所 東
URL <http://www.natori.co.jp/>

代 表 者（役職名） 代表取締役社長（氏名）名 取 三 郎

問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員（氏名）小 林 眞 TEL (03) 5390-8111

四半期報告書提出予定日 平成24年 2月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,399	0.1	1,346	△34.5	1,356	△33.9	793	△29.7
23年3月期第3四半期	25,367	2.7	2,056	4.4	2,052	3.6	1,128	14.4

（注）包括利益 24年3月期第3四半期 807百万円（△28.0%） 23年3月期第3四半期 1,121百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	55.05	—
23年3月期第3四半期	77.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	28,442	15,307	53.8
23年3月期	25,198	14,702	58.3

（参考）自己資本 24年3月期第3四半期 15,307百万円 23年3月期 14,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	7.00	—	—	—
24年3月期（予想）	—	—	—	7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	33,000	0.3	940	△38.4	1,000	△34.1	540	△24.8	37.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無
(注) 詳細は、【添付資料】P. 4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
- ④ 修正再表示 : 有・無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- | | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 24年3月期3Q | 15,032,209株 | 23年3月期 | 15,032,209株 |
| 24年3月期3Q | 619,750株 | 23年3月期 | 619,680株 |
| 24年3月期3Q | 14,412,479株 | 23年3月期3Q | 14,530,324株 |
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
【四半期連結損益計算書】	7
【四半期連結包括利益計算書】	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
5. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間における我が国経済は、欧州の財政危機の深刻化と、好調だった新興国景気の減速の兆しなど、不透明感を増した世界経済の減速懸念の影響を受けています。しかし、国内における個人消費は、震災による消費者マインドの悪化が一巡する中、節約志向は根強いものの、底堅く推移している状況にあります。

この間、食品業界では、高騰した原材料価格が高止まりする一方で、原発事故による放射能問題で、食品に対する安全・安心への関心も依然として高い状況にあり、経営環境は厳しさを増しております。

当第 3 四半期連結累計期間の業績は、売上高 253 億 99 百万円（前年同期比 0.1%増）、営業利益 13 億 46 百万円（同 34.5%減）、経常利益 13 億 56 百万円（同 33.9%減）、四半期純利益 7 億 93 百万円（同 29.7%減）となりました。

セグメント別および製品群別の売上の状況は、下記の通りであります。

区 分		前第 3 四半期 〔自平成22年4月1日 至平成22年12月31日〕		当第 3 四半期 〔自平成23年4月1日 至平成23年12月31日〕		差引増減額・率	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
食品製造販売事業	水産加工製品	12,929	51.0	13,125	51.7	195	1.5
	畜肉加工製品	3,101	12.2	3,184	12.6	83	2.7
	酪農加工製品	3,924	15.5	4,190	16.5	265	6.8
	農産加工製品	727	2.9	669	2.6	△58	△8.0
	すなっくな珍味製品	33	0.1	24	0.1	△9	△27.8
	小物菓子製品	346	1.4	358	1.4	12	3.6
	素材菓子製品	1,124	4.4	1,101	4.3	△23	△2.1
	チルド製品	373	1.5	206	0.8	△166	△44.7
	その他製品	2,596	10.2	2,323	9.2	△272	△10.5
	計	25,157	99.2	25,184	99.2	26	0.1
不動産賃貸事業計		209	0.8	215	0.8	5	2.8
売上高合計		25,367	100.0	25,399	100.0	32	0.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(食品製造販売事業)

食品製造販売事業の当第 3 四半期連結累計期間における売上高は、251 億 84 百万円（同 0.1%増）となりました。

製品群別に分類しますと、水産加工製品は、辛口タイプのいかフライが苦戦しましたが、レトロの視点から導入に成功した「懐かしい甘口いかげそ」などのいかげそ、あたりめが好調に推移しました。また、拡販に努めた茎わかめ、チーズかまぼこ等が売上増加に貢献し、水産加工品全体としては増収となりました。畜肉加工製品は、エバラ食品工業株式会社とコラボレーションした新製品「焼き肉のたれ味ビーフジャーキー」や、新製品「スペイン風サラミ」等が貢献し、増収となりました。酪農加工製品は、品質に拘った「一度は食べていただきたい熟成チーズ鱈」をはじめとするチーズ鱈製品や、新製品「おつまみチーズ カマンベールチーズ入り」などが好調に推移し、リニューアルした新製品「チーズ好きが食べるおいしいチーズ鱈」も貢献した為、増収となりました。小物菓子製品は、駄菓子の「ペンシルカルパス」が売上増加に貢献し、増収となりました。なお、農産加工製品、すなっくな珍味製品、素材菓子製品、チルド製品、その他製品は減収となりました。

利益面では、原料高騰の影響を受けて上昇した原料調達コストへの対応として、いかを中心とした製品規格の見直しや、合理化や現場改善を目的とした設備の導入などの生産性向上に努めましたが、売上総利益は 84 億 82 百万円（同 7.9%減）となりました。

販売費及び一般管理費は、継続的なコストコントロールに努めましたが、第 1 四半期の遅れを取り戻すべく拡販に努めたことにより、販売促進費用等が増加し、72 億 10 百万円（同 0.1%増）となりました。

この結果、営業利益は12億71百万円(同36.5%減)となりました。

(不動産賃貸事業)

売上高は2億15百万円(同2.8%増)、営業利益は75百万円(同40.9%増)となりました。

		前第3四半期 〔自平成22年4月1日 至平成22年12月31日〕		当第3四半期 〔自平成23年4月1日 至平成23年12月31日〕		差引増減額・率	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
連 結	売上高	25,367	100.0	25,399	100.0	32	0.1
	売上総利益	9,263	36.5	8,557	33.7	△706	△7.6
	販管費	7,206	28.4	7,210	28.4	4	0.1
	営業利益	2,056	8.1	1,346	5.3	△710	△34.5
	経常利益	2,052	8.1	1,356	5.3	△695	△33.9
	第3四半期純利益	1,128	4.4	793	3.1	△334	△29.7

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、284億42百万円(前連結会計年度末比32億44百万円増)となりました。

資産の部では、現金及び預金、建物及び構築物などが減少しておりますが、受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品などが増加したことにより総資産が増加いたしました。なお、今後の事業拡大と工場運営の効率化を鑑み、現埼玉工場に隣接する用地の取得に伴い土地が増加しております。

負債の部では、長期借入金、未払金等が減少しておりますが、短期借入金、支払手形及び買掛金などが増加したことにより負債合計は131億35百万円(同26億38百万円増)、純資産の部では利益剰余金の増加により、純資産合計が153億7百万円(同6億5百万円増)となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末比4.5ポイント減の53.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の通期業績予想につきましては、平成23年6月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

なお、当社の主力製品であるチーズ鱈は、昭和57年2月に発売開始以来、平成24年2月をもって30周年を迎えます。ご愛顧頂いている皆さまへの感謝の気持ちとしてのキャンペーンや、更なる拡販を目指した販売促進の実施等を予定しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第 3 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

第 1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第 24 号 平成 21 年 12 月 4 日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 24 号 平成 21 年 12 月 4 日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,762,139	842,823
受取手形及び売掛金	※2 5,101,301	※2 7,129,966
商品及び製品	723,658	837,232
仕掛品	558,911	449,960
原材料及び貯蔵品	2,224,973	3,649,616
その他	339,371	345,637
貸倒引当金	△1,440	△1,152
流動資産合計	10,708,915	13,254,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,873,224	7,557,355
土地	4,261,714	5,126,753
その他（純額）	1,383,663	1,512,721
有形固定資産合計	13,518,602	14,196,830
無形固定資産	146,865	140,414
投資その他の資産	※1 824,149	※1 851,323
固定資産合計	14,489,617	15,188,568
資産合計	25,198,533	28,442,652

	前連結会計年度 (平成23年 3 月 31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 2,932,860	※2 4,749,202
短期借入金	1,279,000	3,179,000
1年内返済予定の長期借入金	671,468	671,468
未払法人税等	310,167	191,825
賞与引当金	319,916	223,152
役員賞与引当金	22,000	16,500
その他	※2 2,144,737	※2 1,592,429
流動負債合計	7,680,150	10,623,578
固定負債		
長期借入金	1,507,115	1,007,091
退職給付引当金	271,553	287,101
役員退職慰労引当金	405,610	447,823
資産除去債務	4,798	4,798
負ののれん	7,218	1,804
その他	619,848	763,028
固定負債合計	2,816,144	2,511,647
負債合計	10,496,294	13,135,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,923	2,290,923
利益剰余金	10,959,650	11,551,214
自己株式	△509,057	△509,113
株主資本合計	14,716,641	15,308,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,403	△721
その他の包括利益累計額合計	△14,403	△721
純資産合計	14,702,238	15,307,427
負債純資産合計	25,198,533	28,442,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 12 月 31 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 12 月 31 日)
売上高	25,367,342	25,399,890
売上原価	16,103,848	16,842,450
売上総利益	9,263,493	8,557,440
販売費及び一般管理費	7,206,939	7,210,999
営業利益	2,056,554	1,346,440
営業外収益		
受取配当金	12,311	15,620
受取賃貸料	20,073	21,536
その他	26,274	26,626
営業外収益合計	58,659	63,783
営業外費用		
支払利息	32,821	25,638
賃貸費用	30,022	28,082
その他	209	159
営業外費用合計	63,053	53,880
経常利益	2,052,160	1,356,343
特別利益		
固定資産売却益	980	669
貸倒引当金戻入額	445	—
特別利益合計	1,426	669
特別損失		
固定資産除却損	435	959
投資有価証券評価損	66,302	13,312
訴訟関連損失	—	7,200
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,835	—
店舗閉鎖損失	6,997	—
特別損失合計	95,570	21,471
税金等調整前四半期純利益	1,958,016	1,335,540
法人税等	829,778	542,202
少数株主損益調整前四半期純利益	1,128,238	793,338
四半期純利益	1,128,238	793,338

【四半期連結包括利益計算書】
第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 12 月 31 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 12 月 31 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,128,238	793,338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,766	13,681
その他の包括利益合計	△6,766	13,681
四半期包括利益	1,121,471	807,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,121,471	807,020
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	25,157,642	209,699	25,367,342	—	25,367,342
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,157,642	209,699	25,367,342	—	25,367,342
セグメント利益	2,003,054	53,499	2,056,554	—	2,056,554

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	25,184,343	215,546	25,399,890	—	25,399,890
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,184,343	215,546	25,399,890	—	25,399,890
セグメント利益	1,271,050	75,390	1,346,440	—	1,346,440

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<p>※1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額</p> <p style="text-align: right;">投資その他の資産 13,634 千円</p> <p>※2 _____</p>	<p>※1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額</p> <p style="text-align: right;">投資その他の資産 12,582 千円</p> <p>※2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。</p> <p style="text-align: right;">受取手形 7,180 千円 支払手形 129,943 千円 その他（設備関係支払手形） 8,293 千円</p>

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
<p>減価償却費 649,471 千円</p> <p>負ののれんの償却額 △5,414 千円</p>	<p>減価償却費 655,258 千円</p> <p>負ののれんの償却額 △5,414 千円</p>